令和２年度　輪島市立鳳至小学校　前期 学力向上プラン

プラン名　互いに関わり合いながら読解力 UP！（目標 80%）

12 か条＋(プラス)6条
よりよい解決のための質の高い学び合いのプロセスの重視

1　授業づくり

⑴　現状・課題（R）

課題	現状（科学的データ）
語彙力・読解力が身についていない。そのため、考えを広げたり深めたりする話し合いができない。	・国語科評価問題3三「答えとして適切なものを選択する。」 無回答０％　正答率 35.9%（12 月）→45.0%（2 月） [要因] ・資料を読み取り，問いに合う適切な文を選択できない。

⑵　計画と実行（P・D）

前期目標	具体的取組
協力し、考えを広げたり、深めたりすることにつながる話し合いができる。	・児童が具体的にイメージできるゴールを設定する。 ・児童と共に単元計画を作成するようにする。 ・単元計画の中にペアやグループで考えを広げたり深めたりする活動を位置づける。 ・児童が考えたくなる問いを意識し、授業を構成する。

評価項目	評価（結果）
・参観シート　問いの工夫　授業のねらい ・児童アンケート 友だちと話し合って、考えがよりはっきりしたり、分からなかったことが分かるようになったりした。 ・職員アンケート 問いの工夫で児童の考えが深まった。	

⑶　検証と改善策（C・A）

月	評価項目（誰が，いつ）	結果	改善策
4	□今年度の学習のめあてを児童と確認する。(学担)		
5	□児童アンケート（月末） □職員アンケート（月末）		
6	□検証シート（研究授業） □児童アンケート（月末） □職員アンケート（月末）		
7	□検証シート（研究授業） □児童アンケート（月末） □職員アンケート（月末）		

2　基盤づくり

前期目標	具体的取組	評価
言葉の意味を理解することができる。 話し合いに必要な問いかけができる。	・言葉の意味を問い返し、関わり合わせる。 ・国語辞典を本バックに入れておき、いつでも調べられるようにする。 ・「Let’s Try」（用語、既習内容、資料の見方・考え方、児童の考えの手がかりを示すもの）の活用し、自分の考えをもたせる。 ・話し合いカードを活用する。	